

# 知ってこころよむ

## 知らない認知症のこと

認知症は、誰にでも起こり得る脳の病気で、2025年には高齢者の5人に1人が認知症になるといわれている、とても身近な病の一つです。しかし、その症状や特徴を把握できていない人が少ないのが現状です。認知症に対する正しい理解を持ち、接することができると、認知症の人と共に生きる社会を目指しましょう。

詳しくは、**本**高齢者安心課(☎22179)へ。

### 高齢者の「もの忘れ」と認知症は異なります

加齢とともに「もの忘れ」が増えたことを悩む人は多くいます。「昨日の夕食に何を食べたか忘れた」など、症状が気になり、認知症を疑う人もいます。

しかし、老化による「もの忘れ」と、認知症による「もの忘れ」は異なります。認知症は、体験自体を忘れてしまい、忘れたことの自覚が

や医療機関の受診が必要になります。

現実には、自分または家族が認知症だと疑うことは、不安が伴います。しかし、早期に治療できるほど、自分らしい時間を長く過ごせます。認知症を疑ったら、かかりつけ医などに相談してみましょう。

### 認知症の人との接し方

認知症の症状は、人それぞれ異なり、もの忘れ等の記憶障害や、時間・場所・人が認識できない見当識障害などがあります。

もし、困っていそうな人を見つけて、認知症が疑われる場合は、次のことに気をつけて声をかけてみましょう。①まずは様子を見る②驚かせないように声をかける③目線を合わせてゆっ



「認知症になっても安心して暮らせる地域へ」を開催します

認知症の人が安心して暮らすためには、認知症を正しく理解し地域で支え合うことが大切です。

市は、9月の世界アルツハイマー月間に合わせて、認知症について多くの人に知ってもらうための展示と相談を開催します。認知症に関することや、認知症の人との接し方、市の取り組みを紹介いたします。

とき 9月5日(月)～9日(金) 午前9時～午後4時  
ところ 市役所本庁舎1階市民ホール  
主な内容

- ①パネル展示
  - ②認知症に関する書籍の紹介
  - ③もの忘れ相談
  - ④認知症本人大使などの動画上映
  - ⑤もの忘れチェック
- 問合せ先 **本**高齢者安心課(☎22179)

### 高齢者支援の総合窓口 〈地域包括支援センター〉

認知症や介護のことなど相談してください。

各地区の地域包括支援センターはこちら▶

